

人間らしい生活が保障される 賃金の実現をめざそう

日立グループ連合2012年春闘結果

項目 組合名	一時金要求			一時金回答		
	賃金ベース (円)	額 (円)	月数 (カ月)	額 (円)	月数 (カ月)	昨年の月数 (カ月)
日立	309,500	1,647,000	5.5	1,580,832	5.28	5.30
日立GST	317,200	1,744,600	5.5	1,719,224	5.42	5.50
日立コンシ	337,000	1,685,000	5	1,415,400	4.20	4.75
日立AMS	303,900	1,671,450	5.5	1,610,670	5.30	5.30
HOTS	310,200	1,707,000	5.5	1,395,900	4.50	4.50*1
日立AP	296,400	1,482,000	5.0	1,409,288	4.75	4.85
日立工機	307,000	1,503,500	5.0	1,413,290	4.70	4.55
HPT	295,700	1,537,600	5.2	1,471,000	4.97	5.00
日立ハイテク	-	半期前期比 0%	-	半期前期比 -6.8%	-	半期前期比 +1.6%
日立金属	-	1,596,000	5.5	-	5.10	5.00
日立化成	-	1,435,000	5.3	-	5.05	5.30
日立建機	-	1,554,000	5.4	-	5.32	4.95
日立物流	-	1,649,060	5.5	-	5.38	5.30
日立協和	276,058	1,312,000	4.75	1,224,262	4.50	4.50
日立電線	299,444	1,348,800	4.5	1,185,800	3.96	4.05
HISOL	285,819	1,458,000	5.1	1,352,000	4.73	-
日立国際	293,654	1,544,943	5.2	1,476,712	4.98	4.60
HISYS	289,090	1,450,000	5.0	1,374,000	4.75	4.75
日立超L	313,794	1,255,000	4.0	957,080	3.05	3.10
日立マクセル	-	1,372,480	5.0	-	4.20	4.00
日立メディコ	-	1,345,000	4.8	-	-	4.40
ビルシス	-	1,525,000	5.2	-	5.02	5.05
日立TM	259,200	1,425,600	5.5	1,117,152	4.31	-
日立JTE	288,751	1,444,000	5.0	1,387,000	4.80	4.70
日立CP	302,162	1,480,594	4.9	1,430,134	4.73	4.43
日立IE	-	1,349,650	5.0	1,147,310	4.28	4.30
IEメカ	-	1,279,350	5.0	1,080,166	4.28	4.30
IESS	-	1,175,755	5.0	979,187	4.28	4.30
ルネサス	294,419	1,266,500	4.3	1,177,676	4.00	4.00
AEパワー	291,997	729,993	半期 2.5	半期619,034	半期2.12	4.35
HES	293,395	1,613,674	5.5	1,420,032	4.84	4.82
HIMEC	255,200	1,276,000	5.0	1,212,200	4.75	4.77
HISEC	280,703	1,403,520	5.0	1,291,234	4.60	4.35
日立ICC	287,414	1,350,846	4.7	1,244,504	4.33	4.37
日立ES	297,590	1,428,432	4.8	1,309,396	4.40	4.40
日立IGS	287,140	1,435,700	5.0	1,300,000	4.53	4.52
IJS	282,317	1,326,900	4.7	1,250,000	4.43	4.42
RPS	298,000	1,490,000	5.0	1,192,200	4.00	-
原町電子	248,700	1,196,247	4.81	982,366	3.95	-
日立VIA	-	1,257,000	4.5	-	4.00	4.55

-: 情報未入手、*1 + 業績回復感謝金(0.5カ月)

12春闘は期待を裏切る結果に

12春闘は、日立が2年連続で純利益2000億円を超える好業績の状況で、賃金はベア要求なしで「賃金体系維持」、一時金も多くの組合で昨年実績を下回り、職場の「今年こ

そ大幅賃上げで生活改善を」の期待を裏切る結果となりました。今年の春闘は、日立労組自らが「2012年中期経営計画を達成し、より強い企業体質へと変革していかなければならない。会社が進めるコスト適正化等の施策についても理解できる」と総括しているように、会社の「グローバル市場

労働者全体の賃金の底上げを

非正規労働者は若い世代や

で勝てる強い企業体質へ変革。そのために2012中期経営計画の完遂、強い企業体質の確立やコスト競争力強化が「要」の主張に屈した春闘であったと言えます。

女性を中心に労働者の38.7%、1756万人にもなっています。年収200万円以下は1045万人、働く人全体の5人に1人強です。非正規労働者問題の改善のためには、全国一律最低賃金1000円以上の実現と、18歳見合い産業別最低賃金(月額15万4500円)を電機・情報産業で働くすべての労働者に適用させることが求められます。労働者と労働組合の闘いをさらに強めることを呼びかけます。

日立懇 <発行>2012年5月号
<日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

★連絡先(茨城)090-8747-6239(馬場)

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net



シニア労働条件が 一部改善に

AEパワー合併解消に伴い、4月から受変製部門でRSCのシニア社員だった人が日立のシニア社員になりました。週5日勤務で有給休暇が年10日から20日に、時間外割増率が所員と同様になりました。またマイカー通勤の駐車場代が1500円から家用車自治会費も1000円になりました。AEパワーからRSCのシニア社員になった人は相変わらず以前のままの労働条件に置かれています。(国分)

桜に太陽光パネル は「エコな景観」

(お)では、スマートファクトリ化の推進で、海側駐車場と工場裏のサンバレー(旧マムシ谷)に太陽光パネルが設置されました。荒地だったマムシ谷は一変し、

4月になり桜が開花すると、太陽光パネルと桜がマッチングしてリエコな景観リでよい雰囲気です。一方、海側駐車場には太陽光パネル設置用に屋根が設置されました。「高級車はここに停めるべき」との声も。夏の強い目差しや雨風が直接当たるとそうでないのでは、車への影響がずいぶん違うでしょう。(大みか)

出向以外に策はないの？

日立国分機器エンジニアリング(KEC)では、作業量の減少で7月頃から現場系・事務系を含め20名以上の人が日立建機などに出向に出る予定となっています。場内では、消化能力が下がり製品の納期が問題となり、さらに外部依存度が増え仕事量が減るといふ悪循環に陥らないか心配です。また、残った人が労働強化になったり健康面が心配されます。組合がないため権利を守る砦がありません。日立からの転属者や出向者が多数いる会社です。事あ

るごとに、国分ファミリールを言うのなら、もつと心の通った施策を考えてほしいものです。(国分)

服装チェックまで やるの！

通勤時の服装が乱れているとして部課長が5月14日から一週間、工場門に立ち服装チェックするそうです。お客に不快な印象を与えるとの理由のようですが、勤務時は統一された作業服を着ているのですから不快な印象与えると思われません。個々人のオシャレは自由な発想の現れであり、それを製品や作業に生かす企業風土こそ日立の発展につながるのではないかと。(国分)

メーデー開催は 「May Day」に

連合茨城日立地区メーデーが4月21日に、日立駅前広場で開催されました。気温が低く風も強くて寒かったこともあってか、家族連れを中心に受付をして帰る人が

多く、10時開会時は2000人に満たない状況でした。みんなが参加しやすいようにとの配慮で連休前の4月21日開催としたようですが、「メーデーの気がしない」の声。国際的な労働者の日を祝うメーデーは、文字通りMay Dayに開催すべきでしょう。(大みか)

緊急時対応の 準備万端に！

自動車通勤者に防犯ブザーが配布されました。昨年から起きている事件の対策の一環です。暗くなつてからの独り歩きが狙われます。ブザーを車の小物入れに入ればなしや、箱のまま放置してはいませんか？少しでも効果が上がるように使用方法の習得や身につけておくようにしましょう。自分のため！ご安全に！(国分)

解放感あつていいよ！

フェンスが新しくなりま

した。震災で損壊したJR側のフェンスの修理が始まりました。R245側は白のカラーフェンスに修理済みです。JR側はコンクリート塀から金網製のふつうのフェンスに変わります。塀の外が見え解放的で良いのですが、反対に外からも丸見えになります。汚いものや、変なものが置けなくなる綺麗に片づけられるのではと期待しています。イメージ変わるかも！(国分)

少なくなった日立本体

AEパワーが日立に戻り10年ぶりに4月2日、国分全体の期首朝礼が桜川門脇の広場で開催された。ピカピカの黄緑色の作業服が光りました。しかし、以前に比べ人が少なくなつたと感じました。職場へ戻る帰り道、製缶職場の建屋から大勢の人が出てきました。協力会社ごとに朝礼をしていたのです。(国分)

